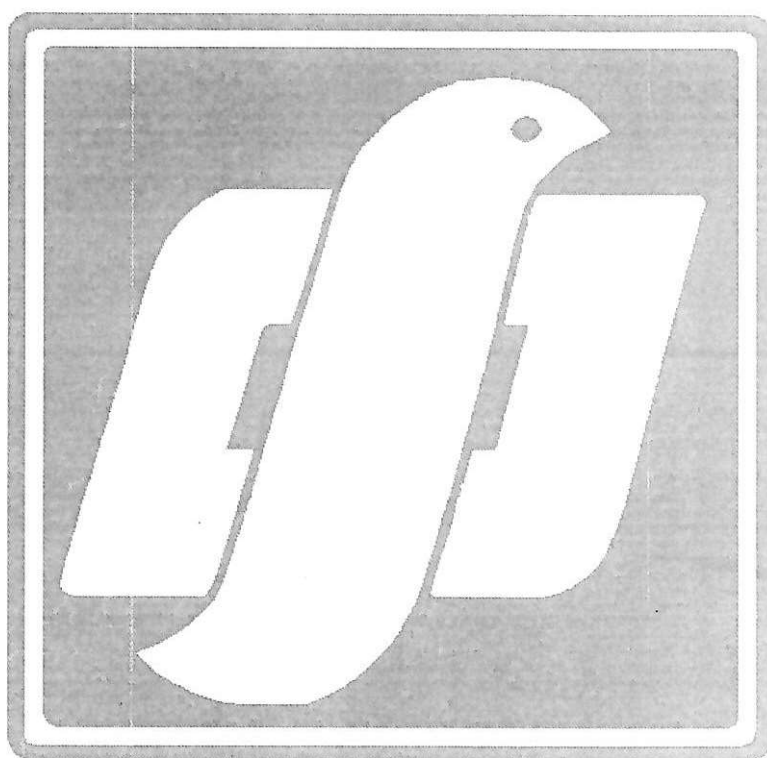


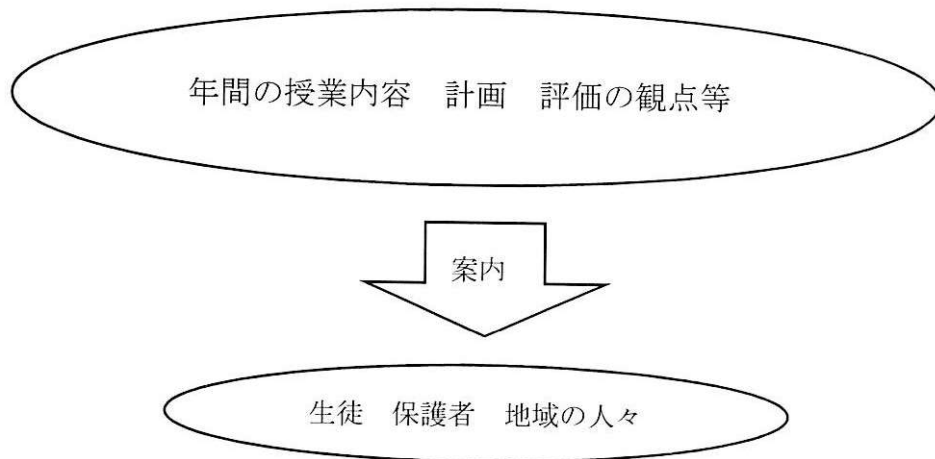
令和 8 年度

第 2 学年 学習案内



さいたま市立第二東中学校

「学習案内」とは何か？



学習案内とは、学校で行われる授業などの年間の学習内容であり、教科の目標、内容、使用教材、学習計画、学習上のアドバイス、評価方法などをお伝えするためのものです。これから、何を何のために、いつ、どのように学ぶかをお知らせします。

学校として年間指導計画を示すことで、生徒のみなさんがこの1年間でどのようなことを学習するのかがわかり、学習計画を立てる上で役に立ち、より意欲的に学習に取り組むための手助けとなります。また、各単元（章）ごとのねらいが前もってわかることで、生徒のみなさんが何を頑張ればよいか、具体的に目当てをもつことができます。保護者のみなさまにとってもお子様との対話のきっかけになります。学習を進める上で十分にご活用ください。

評価・評定について

1 学習評価について

学習評価は、学習指導要領の示す学習目標の到達度に応じて決めていきます。教科ごとに「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点別目標の到達度によって、A、B、Cの3段階で評価します。また、これらの観点別評価を総括して数値として示す5段階の評定があります。現在の評価方法は、いわゆる相対評価とは違い、学習集団内での位置や順位を基準として評価を決めることはありません。したがって、努力して目標に到達した生徒が多く、十分に満足できる生徒が多くなれば評定の高い生徒が多くなります。

2 学習の記録について

必修教科の「観点別学習状況」の評価A・B・Cと、「評定」の5・4・3・2・1については、次のようにまとめられます。

	観点別学習状況
A	十分満足できる
B	満足できる
C	努力を要する

	評 定
5	「十分満足のできるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるもの
4	「十分満足できる」状況と判断されるもの
3	「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
2	「努力を要する」状況と判断されるもの
1	「一層努力を要する」状況と判断されるもの

3 本校における観点別学習状況の評価の評定への総括について

本校では、観点別学習状況の評価の評定への総括について、次のように基準を定めております。

観点別評価の組合せ		評定
AAA		5
AAB		4
ABB	AAC	3
BBB	ABC	
BBC	ACC	
BCC		2
CCC		1（または2）

国語科 第2学年

1 目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を身につける。

2 学習計画と内容

A【話す・聞く】 B【書く】 C【読む】

学期	学習内容 (単元名・教材名・学習教材など)	学習を進める上でのアドバイス
1	- 虹の足 - 豚 - タオル - 日本の花火の楽しみ - 水の山 富士山 - 活用のない自立語【知識・技能】 - 書写 硬筆【知識・技能】 - 新聞の投書を書く ※夏季課題 - 話し言葉と書き言葉【知識・技能】 - 敬語【知識・技能】 - メモを取り、質問の意味を理解する - 漢字の広場	思考・判断・表現 - A・社会生活の中から話題を決め、伝える内容を考えよう。 - B・伝えたいことが分かりやすく伝わるように構成を工夫して書こう。 - C・文章と図表などを結びつけて読もう。 知識・技能 ・登場人物の設定の仕方などを考えて読もう。 ・話し言葉と書き言葉の特徴、敬語の働きを考えて使おう。 ・活用のない自立語の使い方を理解しよう。 ・字形を整え横書きに応じて書こう。
2	- SNS から自由になるために - 根拠をもとに意見文を書く - 漢字の成り立ち【知識・技能】 - 紙の建築 - 活用のある自立語【知識・技能】 - 敦盛の最期「平家物語」 - 随筆の味わい「枕草子」「徒然草」 - 二千五百年前からのメッセージ 孔子の言葉 - 短歌の味わい - 夏の葬列 - 書写 書き初め【知識・技能】	思考・判断・表現 - A・互いの立場や考えを尊重しながら話し合おう。 - B・根拠の適切さ、具体例を加えて書こう。 - C・古典の考え方を知り、朗読しよう。 知識・技能 ・複数の情報を整理しながら読もう。 ・活用のある自立語の使い方を理解しよう。 ・行書の筆使いや形に注意して書こう。
3	- ガイアの知性 - 学ぶ力 - 付属語のいろいろ【知識・技能】 - 走れメロス - 類義語・対義語・多義語・同音語【知識・技能】 - 漢字の広場	思考・判断・表現 - B・読み手を考えて文章を書こう。 - C・文章を読んで考えたことを自分の経験に結び付け、考えを広げよう。 知識・技能 ・付属語の使い方を理解しよう。 ・類義語・対義語・多義語・同音語を理解しよう。

3 観点別の評価方法(各観点の評価方法)

観 点	評価の資料
知識・技能	漢字・語句・文法・古典に関する知識・書写の実技作品・テスト等
思考・判断・表現	A スピーチや発表・発言の内容・聞き取りテスト等 B 感想文・意見文・テスト等 C 授業中のプリント等の表現・内容等・テスト等
主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み・発言・課題設定への意欲・ノート等内容・提出物の状況等

社会科 第2学年

1 目標

- (1) 歴史に対する関心を高め、近世以降の日本の歴史の大きな流れと各時代の特色を、世界の歴史と関連づけて捉えよう。
- (2) 地理に対する関心を高め、世界から見た日本の地理的特色や日本の諸地域について、多面的・多角的に理解しよう。
- (3) 地理的分野、歴史的分野ともに、地図・グラフ・統計資料・年表、写真などの資料を活用した情報を読み取る力や、資料から読み取った情報を基に思考し表現したりする力を育てよう。また、学習内容をレポートなどに効果的にまとめよう。
- (4) 自分の学習状況を振り返ったり、評価したりすることで、主体的に学習に取り組む態度を身に付けよう。

2 学習計画と内容

学期	学 習 内 容 (単元名・教材名)		学習を進めるうえでのアドバイス
1	【歴史的分野 第4章】 1節 ヨーロッパ人との 出会いと全国統一	中世ヨーロッパとイスラム世界、ルネサンスと宗教改革、ヨーロッパ世界の拡大と出会い、信長・秀吉の統一事業、兵農分離と秀吉の対外政策、桃山文化	織田・豊臣統一事業を通して新しい安定した社会が生まれ、その社会が長く続いたという大きな時代の流れを理解しよう。
	【歴史的分野 第4章】 2節 江戸幕府の成立 と対外政策	江戸幕府の成立と支配の仕組み、さまざまな身分、貿易の振興から鎖国、鎖国下の中国・朝鮮・琉球・アイヌとの関係	安定した支配のための江戸幕府の政策や人々の活躍を探究しよう。
	【歴史的分野 第4章】 3節 産業の発達と 幕府政治の動き	農業や諸産業、都市、交通路の発展、幕府政治の安定と元禄文化、享保の改革、田沼の政治と寛政の改革、新しい学問と化政文化、外国船の出現と天保の改革	江戸時代の文化の特徴を理解しよう。幕府による三大改革の違いを理解し、改革がなぜ必要であったのかを考える等、因果関係を考えよう。
2	【地理的分野 第3編】 第1章 地域調査の手法	調査の準備、野外観察・聞き取り調査、資料を使った調査、調査のまとめ、調査結果の発表	縮尺、方位、等高線、地図記号などの地形図の約束について、その知識を身につけ、実際に活用できるようにしよう。
	【地理的分野 第3編】 第2章 日本の地域的特色 と地域区分	地形、気候、人口、産業、交通・通信から見た日本の特色、自然災害と防災、日本を地域区分しよう	日本の国土に対する関心を高め、日本の地域構成や産業の基本的な枠組みをとらえる活動に意欲的に取り組もう。世界の中の日本を大観し、各産業の特徴を大まかにとらえ、理解しよう。
	【地理的分野 第3編】 第3章 日本の諸地域	九州地方、中国・四国地方、近畿地方、中部地方、関東地方 東北地方、北海道地方	各地域の特色を自然環境、人口、都市・村落、産業、文化、他地域との結びつき、歴史的な背景、環境問題に注目して、テーマをもって追究しよう。
	【地理的分野 第3編】 第4章 地域の在り方	身近な地域の課題を見つける、課題を調査する、要因を考察する、解決策を構想する、地域の将来像を提案する	「SDGs」を踏まえて、私たちの地域にはどのような課題があり、どのように解決すべきかを考えて、まとめよう。
3	【歴史的分野 第5章】 1節 欧米における 近代化の進展	イギリスとアメリカ革命、フランス革命、ヨーロッパにおける国民意識の高まり、ロシアの拡大とアメリカの発展、産業革命と資本主義	欧米の市民革命、産業革命とアジアへの侵略的進出の因果関係を理解しよう。
	【歴史的分野 第5章】 2節 欧米の進出と 日本の開国	欧米のアジア侵略、開国と不平等条約、開国後の政治と経済、江戸幕府の滅亡	江戸幕府の混乱と、新しい時代を目指す人々の動きを理解しよう。
	【歴史的分野 第5章】 3節 明治維新	新政府の成立、明治維新の三大改革、富国強兵と文明開化、近代的な国際関係、国境と領土の確定、領土をめぐる問題の背景と領有の歴史的な経緯、自由民権運動の高まり、立憲制国家の成立	明治政府の方針や諸改革、外交政策について理解しよう。自由民権運動や政党政治、憲法制定の過程から民主主義の芽生えについて理解を深めよう。

3 観点別の評価方法

	観 点	評 価 の 資 料
①	知識・技能	確認テストや定期テストなど。基本的な内容の理解。資料の読み取りや作成。
②	思考・判断・表現	定期テスト授業内での活動、ノート・プリントの記述内容など。
③	主体的に学習に取り組む態度	ノートやレポート等の記述内容、授業中の発言内容など。

数学科 第2学年

1 目標

- (1) 文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を養うとともに、連立二元一次方程式について理解し、それを用いる能力を培う。
- (2) 基本的な平面図形の性質について、観察、操作や実験を通して理解を深めるとともに、図形の性質の考察における数学的な推論の意義と方法を理解し、推論の過程を的確に表現する能力を養う。
- (3) 具体的な事象を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。
- (4) 不確定な事象を調べることを通して、確率について理解し用いる能力を培う。
- (5) 箱ひげ図について、既習事項をもとに考え、四分位数や箱ひげ図の必要性和意味を理解する。

2 学習計画と内容

学期	学習内容 (単元名など)	学習を進める上でのアドバイス
1	1章 式の計算 1節 式の計算 2節 文字式の利用 2章 連立方程式 1節 連立方程式 2節 連立方程式の利用 3章 一次関数 1節 一次関数とグラフ	・簡単な整式の加法、減法及び単項式の乗法、除法の計算ができるようにしよう。 ・文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明ができるようにしよう。 ・目的に応じて式を変形することができるようにしよう。 ・二元一次方程式とその解の意味を理解できるようにしよう。 ・連立方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解できるようにしよう。 ・連立方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用できるようにしよう。 ・事象の中には一次関数としてとらえられるものがあることを知ろう。 ・一次関数の表、式、グラフを相互に関連付けて理解できるようにしよう。
2	3章 一次関数 2節 一次関数と方程式 3節 一次関数の利用 4章 図形の調べ方 1節 平行と合同 2節 証明 5章 図形の性質と証明 1節 三角形 2節 四角形	・事象の中には一次関数としてとらえられるものがあることを知ろう。 ・一次関数の表、式、グラフを相互に関連付けて理解できるようにしよう。 ・二元一次方程式を、数を表す式とみることができるようになろう。 ・一次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明できるようにしよう。 ・平行線や角の性質を理解し、それに基づいて図形の性質を確かめ説明できるようにしよう。 ・多角形の角についての性質を見いだすことができるようにしよう。 ・平面図形の合同及び三角形の合同条件について理解できるようにしよう。 ・証明の必要性和意味及び方法を理解できるようにしよう。 ・三角形の合同条件などを基にして、三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、図形の性質の証明をもとに新たな性質を見いだしたりできるようにしよう。
3	6章 場合の数と確率 1節 場合の数と確率 7章 箱ひげ図とデータの活用 1節 箱ひげ図	・確率の必要性和意味を理解し、簡単な場合について確率を求めることができるようにしよう。 ・確率を用いて不確定な事象をとらえ説明できるようにしよう。 ・四分位数を求めたり、箱ひげ図をかいたりすることができるようにしよう。 ・箱ひげ図の必要性和意味を考えて理解しよう。

3 観点別の評価方法

	観点	評価の資料
①	知識・技能	○授業中の取組(問題演習の結果)など ○定期テスト
②	思考・判断・表現	○授業中の取組(発表内容・レポート課題の内容)など ○定期テスト
③	主体的に学習に取り組む態度	○授業の取組方(目標設定と振り返り用紙の内容)など ○提出物(ファイル・問題集・その他課題の完成度)など ○定期テスト

理科 第2学年

1 目標

- (1) 生徒1人ひとりが目的意識をもった観察、実験を行うことにより、科学的に調べる能力を育て、科学的な見方や考え方を養う。
- (2) 日常生活との関連を図った学習を行う。自然環境と人間との関わりを重視した実験や観察を積極的に取り組む。

2 学習計画と内容

学 期	学 習 内 容	学 習 を 進 め る う え で の ア ド バ イ ス
1	化学変化と原子・分子 ・物質の成り立ち ・物質の表し方 ・さまざまな化学変化 ・化学変化と物質の質量	「知識・技能」 ・分解反応、化合反応、還元反応、吸熱・発熱反応について理解するとともに、観察、実験などに関する知識と技能を身につけよう。 「思考力、判断力、表現力」 ・化学実験を通して、実験結果から科学的な見方や考え方ができるようにしよう。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・物質がどこまで分解できるのか、化合できるのかに興味をもとう。 ・原子の組み合わせでさまざまな分子ができるのかに興味をもとう。
2	生物の体のつくりとはたらき ・生物の体をつくるもの ・植物の体のつくりとはたらき ・動物の体のつくりとはたらき ・動物の行動のしくみ 地球の大気と天気の変化 ・地球をとり巻く大気のように ・大気中の水の変化 ・天気の変化と大気の動き ・大気の動きと日本の四季	「知識・技能」 ・植物も動物も細胞でできていることを常に意識しながら、各器官とそのはたらきについて理解しよう。 ・消化酵素の実験、刺激と反応実験などを通して、観察、実験などに関する技能を身につけよう。 「思考、判断、表現」 ・植物と動物の共通性について考え、規則性や関係性を見いだそう。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・植物と動物の共通性と種による多様性に興味をもとう。 ・体のつくりとはたらきについて興味を持とう。 「知識及び技能」 ・気象現象と日本の天気の特徴について理解しよう。 ・雲の観察、露点の実験、雲を作る実験、乾湿計の使い方、天気図の読み方、天気図の書き方などを通し、気象観測の仕方などを身に付けよう。 「思考力、判断力、表現力」 ・空気の流れと気圧・気温の変化の関係を、雲のでき方と関連づけて考えよう。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・気象に関する事項に興味を持とう。 ・状態変化とはちがう水のふるまいについて興味をもとう。
3	電流とその利用 ・電流の性質 ・電流の正体 ・電流と磁界	「知識・技能」 ・静電気の実験、電流計・電圧計の使い方、回路の電流・電圧の測定、電流と磁界の実験を通して、電磁気に関する知識と技能を身に付けよう。 「思考・判断・表現」 ・計測や実験を通して、電流、電圧、抵抗、電力、電力量などの関係性について考えることができるようになろう。 ・電子の流れを常に意識して考えることができるようになろう。 「主体的に学習にとり組む態度」 ・すべての物質が電氣的性質をもつことに興味をもとう。 ・電流と磁界には密接な関係があることに興味をもとう。

3 観点別の評価方法（各観点の評価資料）

	観 点	評 価 の 資 料
①	「知識・技能」	定期テスト、レポート、小テスト等
②	「思考・判断・表現」	定期テスト、レポート、小テスト等
③	「主体的に学習にとり組む態度」	定期テスト、レポート、授業中のようす等

音楽科 第2学年

1 目標

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を楽しく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- (2) 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能をのばし、創造的に表現する能力を高める
- (3) 多様な音楽に興味・関心を持ち、幅広く鑑賞する能力をのばす。

2 学習計画と内容

	学習内容（単元・節など）	学習を進める上でのアドバイス
1 学 期	○校歌、語り合おう（歌唱） ○交響曲第5番ハ短調（鑑賞） ○混声三部合唱曲（歌唱）	○正しい姿勢や音程で美しく歌おう。 ○交響曲の形式や作曲者について理解しよう。 ○パートリーダーを中心に積極的に練習しよう。 ・正しい音程・リズムで音取りをし、のびやかに歌おう。
2 学 期	○合唱コンクール自由曲（歌唱） ○クラシックギター（器楽） ○「ボレロ」（鑑賞）	○指揮やピアノ伴奏に合わせ美しいハーモニーを作ろう。 ・クラスの仲間と合唱する喜びを感じ、曲を作り上げよう。 ・ハーモニーの美しさを感じ、響きのある声で合唱しよう。
3 学 期	○アジア諸民族の楽器（鑑賞） ○雅楽「越天楽」（鑑賞） ○卒業式に向けて「旅立ちの日に」（歌唱）	○アジアの伝統的な音楽に関心を持ち、特徴や音色を理解しよう。 ○日本の伝統的な音楽の特徴を理解して聴こう。 ○三年生への感謝の気持ちを表せるように、心をこめて力強く合唱しよう。 ・パートリーダーを中心に主体的に練習に取り組もう。 ・詩情を感じ取り美しく豊かな表現を工夫しよう。

3 観点別の評価方法

	観点	評価の資料
①	知識・技能	・実技テストの技能点数 ・定期テスト
②	思考・判断・表現	・美しく豊かな音色を目指し、表現を工夫しているか（プリントの記入内容） ・様々な音楽の特徴を意識して聴きとり、具体的な感想を述べることができるか（プリントの記入内容） ・実技テストの表現力の点数 ・定期テスト
③	主体的に学習に取り組む態度	・パート練習、グループ練習や全体練習に対する積極性 ・意欲を持って学ぶ姿勢（聴く態度・挙手・発言・パート練習） ・パートリーダーとしての積極性（練習時の取組み）

美術科 第2学年

1 目標

- (1) 造形的な視点を理解し、表現方法を創意工夫して、創造的に表現できる。
- (2) 美しいと感じる心(感性)や創造する力を高め、様々な見方や働きなどについて考えることができる。
- (3) 主題(自らのテーマ)を生み出し、発想・構想を練り、造形的な美しさを追求する。
- (4) 美術作品や文化遺産などについて理解を深め、よさを感じ取りながら鑑賞する。

2 学習計画と内容

学期	学習内容(単元名・教材名・学習材など)	学習を進めるうえでのアドバイス
1	「ガイダンス」 「浮世絵はすごい」 「メディウムはがし刷り版画」	・学習内容を把握しよう。 ・色彩の基礎知識を思い出そう。 ・鑑賞を通して、時代背景や作者の思い、作品のよさを味わおう。 ・モチーフの特徴を捉え、造形に生かし、感情をイメージで表現してみよう。 ・材料を最大限使用し、制作をしよう。 ・版画の種類を理解し材料の特性を学ぼう。
2	「デザインで人生を豊かに」	・鑑賞を通して、作者の思い、作品のよさを味わおう。 ・伝える目的や条件、中のイメージなどを基に伝達の効果と色彩、文字のバランスの美しさを考えよう。 ・素材を生かした制作をしよう。 ・自他作品の良さを味わい生活に生かそう。
3	「魅力を伝えるパッケージ」	・伝えたい内容をまとめ、形にして表現しよう。

3 観点別の評価方法(各観点の評価方法)

	観 点	評価の資料
①	知識・技能	☆自分の興味関心、好きなものを理解、探求している。 ・造形的な視点について理解している。 ・自分の考えたアイディアを表せるように、材料を理解し、表現を工夫している。 ・技法を効果的に使い、素材の特性を理解した上で制作をしている。 【ワークシート、小テスト、用具の扱い、作品】
②	思考・判断・表現	☆興味関心のあるものを軸に、自分のつくりたいもの(主題を生み出すこと)ができる。 ・「知識・技能」を踏まえ、主題(自分のテーマ)を設定する。 ・心豊かに発想、構想を練る。 ・見方や感じ方を広げている。 【ワークシート、振り返りシート、作品】
③	主体的に学習に取り組む態度	☆毎時間、自分の理想の作品完成に向けて、現状(時間、技量)をすり合わせ、修正を重ねながら進めることができる。 ・「知識・技能」、「思考・判断・表現」を踏まえ、学習に意欲的、かつ持続的に取り組んでいる。 ・自ら楽しく美術の活動を継続的に取り組んでいる。 【振り返りシート、授業中や制作への取り組みの様子、作品等】

保健体育科 第2学年

1 目標

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人ひとりの違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

2 学習計画と内容

学期	学習内容(単元名・教材名・学習材など)	学習を進めるうえでのアドバイス
1	体づくり運動 新体力テスト 集団行動 体育祭練習 球技Ⅰ バドミントン、卓球 水泳 クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ 傷害の防止	○仲間と協力し、明るく元気よく運動に取り組みましょう。 ○苦手な運動にも積極的にチャレンジすること。失敗しても恥ずかしくない雰囲気をつくりましょう。 一生懸命はかっこいい！ ○学習カードは具体的な内容を書くことを心掛けましょう。 何ができて、何ができないのか。どうやったらできるようになると思うか。次回の授業で意識することは何か。 自己の課題を発見し、その解決方法を考えて学習カードを記入しましょう。 ○運動が得意な人は積極的に仲間にアドバイスをすること。授業ではそういう姿勢を見ています。 ○定期テストは「知識・技能」の評価に大きく関係します。運動が得意な人もしっかりテスト勉強をしなければいけません。
2	球技Ⅱ バレーボール、ソフトボール 陸上 長距離走、ハードル走 器械運動 マット運動・跳び箱運動 ダンス 現代的なリズムのダンス 運動やスポーツの多様性 傷害の防止	
3	陸上 ハードル走 器械運動 マット運動・跳び箱運動 武道 剣道 球技Ⅲ サッカー 健康な生活と疾病の予防	

3 観点別の評価方法(各観点の評価方法)

	観 点	評価の資料
①	知識・技能	〈運動の特性に応じた基本的な動きや技能〉 (例)・技能テスト(発表会など)・競技の記録・練習やゲームでの動き 〈生涯にわたって運動に親しむための理論及び健康や安全についての基礎的な知識〉 (例)・定期テスト・練習やゲームの進め方・ルールを理解・レポート
②	思考・判断・表現	〈運動の仕方や取り組み方、組合せ方を工夫するとともに、健康・安全について考え、判断し、表現する力〉 (例)・学習カードの内容・課題に沿った練習やゲーム、グループ活動の動き(アドバイス)・安全への配慮
③	主体的に学習に取り組む態度	〈運動に積極的に取り組み、健康・安全を確保して意欲的に学習しようとする態度〉 (例)・取組の様子(挨拶・返事・準備運動・話を聞く姿勢)

技術・家庭科（技術分野）第2学年

1 目標

- 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換、情報等の技術についての基礎的な理解と技能及び、技術と生活や社会とのかかわりの理解を深める。
- 生活や社会の中から技術にかかわる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を育む。
- よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 学習計画と内容

学期	学習内容	学習を進めるうえでのアドバイス
1	【情報の技術】 ○コンピュータの構成と基本的な情報処理を理解する。 ○情報モラルとマナーについて理解する。 ・世界の国旗の作品を作成する。（基礎編） （プログラムを利用して）	・コンピュータの構成と基本的な情報処理を理解しよう。 ・情報モラルとマナーについて理解しよう。 ・世界の国旗の作品をプログラムを利用して作成しよう。（基礎編）
2	【情報の技術】 ○プログラミングによる問題解決ができる。 ・世界の国旗の作品を作成する。（応用編） （プログラムを利用して）	・プログラミングによる問題解決ができるようにしよう。（応用編） ・世界の国旗の作品をプログラムを利用して作成できるようにしよう。（応用編）
3	【エネルギー変換の技術】 ○社会の発展とエネルギー変換の技術を理解する。 ・テーブルタップの製作ができる。 ・手回し発電機付ラジオの製作ができる。	・社会の発展とエネルギー変換の技術を理解しよう。 ・テーブルタップの製作ができるようにしよう。 ・手回し発電機付ラジオの製作ができるようにしよう。

3 観点別の評価方法（各観点の評価方法）

観 点	評価資料
知識・技能	生活や技術に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、生活と技術とのかかわりについて理解している。（定期テスト等） 生活に必要な基礎的・基本的な技能を身に付けている。（作品を製作する技能）
思考・判断・表現	生活について見直し、課題を見付け、その解決をめざして自分なりに工夫し解決しようとしている。（プログラムの設計やものづくりの組立など）
主体的に学習に取り組む態度	生活や技術について関心を持ち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする。（挙手、ワーク、授業態度等）

技術・家庭科（家庭分野） 第2学年

1 目標

- ・健康と食事の関わりについて理解させ、食生活を見直すきっかけをつくる。
- ・簡単な日常食の調理ができる。
- ・食品の栄養的特質や中学生の1日に必要な食品の種類と概要を知る。
- ・食品の品質を見分け用途に応じて選択できる。

2 学習計画と内容

学期	学習内容	学習を進めるうえでのアドバイス
1	ガイダンス（1年間の学習の紹介） 『食生活をよりよくしよう』 1. 食事の役割 ・健康と食事の関わりについて理解させ、自分の食生活を見直すきっかけをつくる。 2. 栄養素の種類と働き ・栄養素の種類と働きを知り、中学生の時期の栄養の特徴について考える。 3. 食品の栄養的特質 ・食品群別摂取量の目安を用いて中学生に必要な一日分の献立を考えられるようにする。 4. 『豊かに楽しく食べる』 ・地域の食材を使った料理	・3年間の学習の内容を把握しよう。 ・食事の役割を考え、健康を考えた食生活を実践できるようにしよう。 ・食品に含まれる栄養素の種類と働きについて、理解しよう。 ・一日分の献立作成ができるようにしよう。 ・「郷土料理」について学習し、調べたことについて発表しよう。
2	5. 食品の選択 ・生鮮食品の特徴を理解し、用途に応じて適切に選択することができるようにする。 ・食品添加物の種類や使用目的について知り、適切な食品の選択ができるようにする。 6. 食生活の安全と衛生 ・安全や衛生に留意し食品や調理器具などの適切な管理ができる。 7. 簡単な日常食の調理 ・簡単な日常食の調理ができる。 ・基本的な調理技術を理解する。	・食品の品質を見分ける方法を理解し、適切な選択ができるようにしよう。 ・食品添加物の種類や使用目的、安全性と問題点について考えよう。 ・基本的な調理技術を習得しよう。 ・食品や調理器具の適切で安全な取り扱い方を理解しよう。
3	8. 持続可能な食生活 ・私たちの食生活の課題 ・1日の食をよりよくしよう 9. 住生活について	・自分の食生活を振り返り、問題点を考えてみよう。

3 観点別の評価方法（各観点の評価資料）

	観点	評価の資料
①	知識・技能	・栄養素の種類と働きについて理解することができる。 ・調理器具の適切な取り扱いを理解し基本的な調理操作ができる。 【学習プリント・レポート・実習・実技テストなど】
②	思考・判断・表現力	・食生活について課題をみつけ解決を目指すための工夫ができる。 【学習プリント・レポート・実習など】
③	主体的に学習に取り込む態度	・授業に意欲的に取り組み学習した内容を家庭生活の中でも実践していこうとしている。 【学習プリント・レポート・実習・実技テストなど】

グローバル・スタディ科 第2学年

1 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

コミュニケーション能力のGOAL

- はっきりと話された日常的な話題や社会的な話題についての会話やスピーチを聞いて、話の概要を捉えることができる。
- 日常的な話題や社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた文章を読んで、話の概要や要点を捉えることができる。
- 日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に適切に答えたりすることができる。
- 日常的な話題や社会的な話題について、事実や考えなどを整理して、まとまりのある内容を話すことができる。
- 日常的な話題や社会的な話題について、事実や考えなどを整理して、まとまりのある文章を書くことができる。

2 学習計画と内容

学期	学習内容（題材名）	学習を進める上でのアドバイス
1	• New Start • 簡単な表現で言い換えよう • Koshien Project in Africa • 天気予報を聞こう • 魅力を伝えるためのコツを知ろう • Taste of Culture • 海外でヒットするラーメンのCMを作ろう • The Three Dolls • 電話をかけよう	☆根拠をもって論理的に自分の意見を伝えよう。 ☆言い方がわからない単語を自分が知っている表現を使って伝えよう。 ☆考えたことや疑問に思ったことなどを伝え合おう。 ☆話の概要を捉え、読み取った内容や感想を整理して、まとまりのある文章を書こう。 ☆ある状況を想定しながら、電話のやり取りをしてみよう。
2	• Leave Only Footprints • レストランで食事をしよう • わかりやすい見出しをつけよう • Work Experience • High-Tech Nature • メールで近況報告をしよう • 相手にわかりやすい説明をしよう • 日本のおすすめスポットを紹介しよう • Friendship beyond Time and Borders • Unique Animals	☆身近な環境問題の改善策について、意見を述べたり、相手の意見を聞いて情報を整理し、内容に対して応答したりしよう。 ☆店員役と客役に分かれてやり取りをしてみよう。 ☆スピーチに対する友達からの質問や感想をもとにエッセイを書こう。 ☆複数の案を比較しながら意見を述べたり、友達の発表を聞いて、要点を捉えたりしよう。 ☆相手が知らない事柄について簡単な語句や文を用いて伝えよう。 ☆既習の言語材料の意味や働きを理解をもとに、日本のおすすめスポットについて書いてみよう。 ☆グローバルな視点で書かれた文章を読んで概要や要点を捉え、自分の意見を書いてみよう。 ☆複数の物事を比較しながら、特徴や魅力について意見を伝え合おう。
3	• A Hope for Lasting Peace • 飛行機のアナウンスを聞こう • 説得力のある説明をしよう • My Hero の魅力を伝えよう • Apollo 13	☆自分の体験や調べた情報などを整理し、紹介しよう。 ☆あるテーマについて、説得力のある理由を交えて自分の意見を言おう。 ☆自分が尊敬する人物についてのスピーチ原稿を書こう。 ☆ストーリーを読んで話の概要を捉え、簡単な紹介文を書こう。

3 観点別の評価方法

	観 点	評 価 の 資 料
①	知識・技能	定期テスト、小テスト
②	思考・判断・表現	定期テスト、パフォーマンステスト、小テスト
③	主体的に学習に取り組む態度	挙手や発言、コミュニケーション活動への取り組み、積極的に英語を使ってコミュニケーションをしよう・続けようとする態度・意欲、パフォーマンステスト、課題の提出等